

できる実感を味わい、意欲的に取り組む体育科指導の工夫

—スモールステップ型の単元構成と、自己の伸びを実感する学習カードを取り入れて—

体育科 本川 貴晴(小学校教諭)

【児童の実態】

○体育は好きなのに・・・

- 種目による苦手意識の差が大きい(自信が持てない)
- 運動の行い方が分からない

「できるようになって
いるのかな・・・。」
「どうやればいいの・・・。」



【研究のねらい・手だて】

①スモールステップの単元・1単位時間の構成を取り入れ、②自己の伸びを実感できる学習カードを作成・活用することで、児童はできる実感を味わいながら、意欲的に取り組むことができるようになることを、実践を通して明らかにする。

【第4学年での実践】

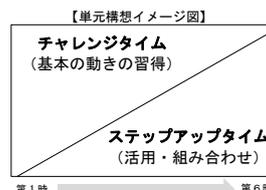
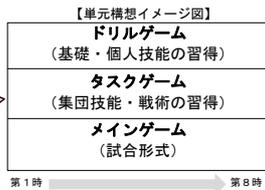
ゲーム ネット型
「プレルボール」

体づくり運動
「多様な動きをつくる運動」



①スモールステップ型の単元・1単位時間の構成

～基礎・基本の習得→それらを活用した学習を段階的に～



- 1単位時間をドリル→タスク→メインの流れに!
- 活動内容を精選し、段階的に難しい活動に!
- NTM形式を取り入れ、スパイラルな向上を!

- 1単位時間をチャレンジ→ステップアップの流れに!
- 個→ペア→グループの活動の流れで!
- 動きを工夫し組み合わせグループごとの発表会を!

②学習カード

～自己の伸びを実感する～

【学習カードの一部】

月 日	月 日	月 日
○オリエンテーション ・授業の約束	○ドリル	○ドリル
○キャッチプレルバス	○キャッチプレルバス	○キャッチプレルバス
・1分間で、...回 楽しい・前進・楽しくない	・1分間で、...回 楽しい・前進・楽しくない	・1分間で、...回 楽しい・前進・楽しくない
○ふりかえり ・楽しくできたか	○ふりかえり ・楽しくできたか	○ふりかえり ・楽しくできたか
○ドリル ・シュートパス	○ドリル ・シュートパス	○ドリル ・シュートパス
・高さと強さできたか	・高さと強さできたか	・高さと強さできたか
○プレルバス	○プレルバス	○プレルバス
できた・前進・できない	できた・前進・できない	できた・前進・できない
○三角パス	○三角パス	○三角パス
・上手になったか	・上手になったか	・上手になったか
なかった・変わらない・ならない	なかった・変わらない・ならない	なかった・変わらない・ならない

【本時のめあて】

多様な動きをつくる運動を楽しむために、基本的な動きをもとに、運動を組み合わせた工夫したりしよう!

【用具の操作】

○チャレンジタイム(一人で・ペアで挑戦)

○ステップアップタイム(グループで挑戦)

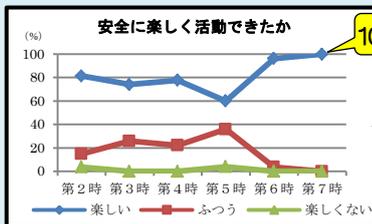
【用具の操作】	【体の移動】
①投げ上げる	①回る
②投げる	②走る
③転がす	③スキップ
	④キャロップ
	⑤ケンケン
	⑥その他

・選んだ組み合わせ

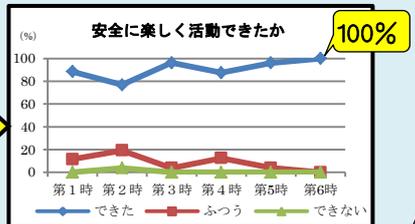
A: () + () B: () + ()
 C: () + () D: () + ()
 E: () + () F: () + ()

- ドリルゲームの記録を蓄積!
- 学習活動の流れやルールを明示!
- 自己の変容を捉える振り返り!

- 1単位時間ごとのめあての明示!
- 学習活動の流れの明示!
- 基本となる動きや組み合わせを明示!



意欲の高まり!



児童の感想

- ・初めは難しかったけど、どんどんできるようになって楽しかったです!
- ・いろいろできるようになったので次のプレルボールが楽しみです!
- ・動きのポイントや工夫の仕方が分かったので、もっと挑戦してみたいです!

【成果と課題】

- ◎成果
 - ・スモールステップ型の単元・1単位時間の構成とすることで、児童は確実に基本となる技能や動きを習得することができ、単元後半ではそれらを活用して、学習を深めていくことができた。
 - ・学習カードを工夫することで、児童はめあてや学習の流れを明確につかむとともに、自己の伸びを実感することができ、自信を深めながら意欲的に学習に取り組むことができた。
- 課題
 - ・基本となる技能や動きは、児童の実態に合わせてより精選して取り上げていく必要がある。